

朝の大阪港シップウォッチング

事務局長 池田良穂

吉元会員の横浜港でのシップウォッチングにニュースに刺激されて、私も、ホランド・アメリカ・ラインのクルーズ客船「ウェステルダム」の大阪入港を見に出かけました。

大阪港の天保山岸壁に入る船は、かつてのガラスドームの海洋博物館(閉鎖中)のあたりから、よい写真が撮れます。大阪港振興協会のホームページによると 8 時の入港とのことだったので、7 時前からスタンバイしようと思っただけのところ、すでに 20 人余りの船ファンがカメラを掲げて待機中でした。残念ながら、本学会の会員らしき姿は見かけませんでした。

この時間帯は、大阪港への入港船のラッシュアワーで、フィーダーサービスの小型コンテナ船が続々と入港してきて、それに続いて「ウェステルダム」がやってきました。そしてしんがりはマースクラインの中型コンテナ船でした。



① 寂しい姿をさらす元海事博物館「なにわの海の時空間」のガラスドーム。



③ フィーダーコンテナ船「シノトランス オーサカ」が入港。



② ウェステルダムの入港を待つ人々。



④ 続いて「シノトランス・ホンコン」も入港してきました。他にも数隻の小型コンテナ船が入港してきました。



⑤ 入港するウェステルダム



⑥ 天保山岸壁に向かって港内を進む「ウェステルダム」



⑦ しんがりはマースクラインの中型コンテナ船「マースク・ユフレート」。船体塗装はマースクのライトブルーではありませんでした。